

タイトル	多世代で繋がり人や情報が集まる 夢の芽が花開く地域のHUB拠点		
設計	(株) 森設計事務所	施工	大工 中村
構造	在来木造		

講評
子連れで学び、働ける場所が欲しいという若い母親の訴えから、空き家を、人々が集う場に改修したコンバージョンである。工事は住み継がれた家の面影を残しつつ住民参加型で行われ、老若男女が集い、つながり、情報が集まる地域のハブとなった点も評価される。

コンバージョン前後の写真

After



①改修後外観



④改修後外観



⑤改修後内観



②改修後内観



③改修後内観



⑥懇親会会場として



⑦地域食堂



⑧昼のママCAFE



⑨夜の居酒屋

Before



壁塗りワークショップ風景



コンバージョンの動機/設計・施工の工夫点/施主・居住者の満足

改修前は住居として使われていたが5年以上空き家となっていた、地域のどこにでもある物件。一方、この物件がある集落には、飲食店が無く、人々が集うには隣町へ車で行くしかなく、このままでは、地域の衰退が危惧されていた。そんな時に、「子連れでも学び、働ける場所が欲しい」と、施主であるママが地域の活性化に繋がる拠点作りが必要だと訴え、本物件と出会い、人々が集う場へと改修することとなった。建物としては、住み繋がれた家の面影を残しながら、愛着が湧く場とするために、土間のコンクリート打ちや塗装な

どは、ワークショップ形式で住民参加型で行った。水回りや白蟻被害部分などの補修を行いつつ、色々な用途に対応できる形に設計した。完成後は、①チャレンジショップ②コミュニティスペース③レンタル/コワーキングスペースとして3つの機能を有しており、3人の出店者が営業曜日や時間を調整しながら飲食店を展開している。会議や各種講座などの学びの場としても活用され、子供が遊べる空間も併設しているため、赤ちゃんから高齢者まで多世代で繋がり夢を実現できる場として、人や情報が集まる地域のハブとなった。

建物として確保した性能
耐久性能、温熱性能

特に配慮した事項
傷んだ部分の補修を行い、幅広い年代の方々の使用を想定し、人々が集い、懐かしさを感じながら、心地よい空間となるよう配慮した。

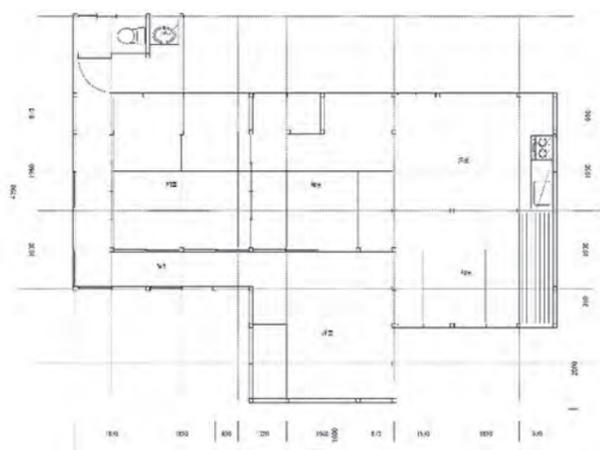
データ

所在地 鹿児島県大島郡瀬戸内町 新築竣工年 1958年 築後年数 61年 施工期間 120日間

該当工事床面積 82.57㎡ / 総工事床面積 82.57㎡ 該当部分工事費 950万円 / 総工事費 950万円

コンバージョン後の用途: □併用住宅 / ■店舗・飲食店 / □宿泊施設 / ■多目的スペース / ■子育て支援施設 / □高齢者福祉施設 / □図書館 / □工房 / ■その他

コンバージョン前の平面図



コンバージョン後の平面図

